



セーリング競技に出場する(右から)高橋、植田、阿部、濱野の4選手と近藤会長

目標順位掲げ闘志

室蘭セーリング協会4選手

市長に国体出場の抱負

第69回国体のセーリング競技(10月13日から長崎県)に出場する室蘭セーリング協会所属の4選手が22日、室蘭市役所を訪れ、青山剛市長に抱負を語った。

選手は、高橋豪助(15) 海星学院1年・シーホップ1級スモールリグ、植田望裕(17) 北海道シユタイナ1高等学校いずみの学校2年・同、阿部佳苗(47) 公務員・セーリングスピリッツ級、濱野文(30) 主婦・同の4選手。阿部

と濱野はペア競技。いずれも7月に小樽市で開かれた予選で優勝、出場権を得た。同協会の近藤一生活会長と市役所を訪れた4人は「何とか10番以内を」(高橋)、「入賞(8位)を目指す」(植田)、「セーリングスピリッツ級は北海道勢の成績があまりよくない。20位以内に入れれば」(阿部・濱野)と意気込みを語った。青山市長も「室蘭のマリンスポーツは歴史がある。いい報告を待っています」と激励していた。(高橋昭博)